



令和2年6月2日火曜日 第10132号

目次

◎WTI原油三十五・四九ドル、国産ナフサkl二万五千四百円・二	二
◎原油・ナフサ価格の推移(表)	二
◎JXTGエネルギー、六月ベンゼンACP四百十五ドル	二
◎積水化学、圧力管路用のFRP製離脱防止継手を発売	二
◎住化、「知財に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」参加	三
◎大洋塩ビ、新社長に東ソーの堤晋吾常務執行役員が就任	三
◎BASF、プラの循環型ソリューション、共同開発を締結	三
◎エア・ウォーター、熱膨張性黒鉛事業、合併会社化で成長	四
◎ポリスチレン、四月国内出荷一五%減、再び前年割れに	四
◎工業会、二〇二〇年四月SM/PS需給実績(表)	五
◎富士フイルム、新型コロナウイルスのAI診断技術開発を開始	五
◎クラレ・人事(六月一日)	六
◎クボタケミックス・人事(六月一日)	六
◎大洋塩ビ・人事(六月二十二日)	六
◎出光興産・役員人事①(六月二十三日/他)	六
◎世界のナフサ、オレフィンスポット価格動向(表)	七
◎世界のBTX・SM・PHスポーツ価格動向(表)	八

☆アジア石化市況、エチレンは前週比八十ドル高に

芳香族も回復基調が継続、SMは三週連続で上昇

アジア地域の五月第二週の石化市況では、エチレンは、下値八十ドル高、上値百十ドル高の五百三十〜六百ドルでの取引となった。四月第四週の底値から、わずかに三週の間に二百十〜二百二十ドルも急騰している。中国の経済が再開される中、原油に連動しナフサが上昇してきたことや、アジア地域で定修が重なったことが、エチレン価格を押し上げる要因となった。スプレッドも、ナフサ価格が五ドルの小幅高だったため、七十五ドル拡大の二百九十ドルと大幅に改善している。プロピレンは、下値、上値とも四十ドル高の七百四十〜七百六十ドルとなった。こちらは四月第一週の底値から二百ドル以上も値を戻している。誘導品であるポリプロピレン(PP)は、マスクなど衛生材向けに需要が増加しているのに加え、回復傾向にある自動車材料向けに引き合いが強まっている。ブタジエンは下値が三十ドル高、上値が十ドル高の三百四十〜四百十ドルでの取引となった。二週連続での上昇となったが、他のオレフィンに比べ力強さは見られていない。一方、芳香族は、原油価格に連動し、三製品とも上昇基調を継続した。ベンゼンは十三ドル高の三百七十八ドルと二週連続で上昇し、スプレッドは八ドル拡大。スチレンモノマー(SM)も、ABS需要が戻りつつあることから五百九十六ドルと三週連続で上昇している。トルエンは二十五ドル高の三百五十〜四ドルとなり、キシレンは八ドル高の三百九十四ドルとなった。原油価格上昇を背景に原料価格に先高観が出ているもの

☆ JXTG エネルギ―、六月ベンゼン ACP 四百十五ドル JXTG エネルギ―は一日、六月分のベンゼン ACP (アジア契約価格) を四百十五ドル/t で決着した、と発表した。五月のアジア・ベンゼン市況は、原油価格に連動して前月比で上昇。こうした市場環境を反映し、六月 ACP は前月比九十ドル/t 高で決着した。なお、国内価格換算想定値は、四十九・九円/kg になる。

		ナフサ [\$/MT]	原油 [\$/bbl]		
		MOPJ	WTI	BRENT	DUBAI
5月25日	月	—	—	—	—
5月26日	火	311.875	34.35	36.17	34.85
5月27日	水	307.375	32.81	34.74	34.50
5月28日	木	293.375	33.71	35.29	33.21
5月29日	金	297.125	35.49	35.33	34.85

の、誘導品の戻りが遅く上昇幅が限られて
いる状況だ。今後については、市況上昇の
勢いがいつまで続くのかに注目が集まる。
中でもエチレン市況は、ナフサの上昇幅を
大きく上回って急騰しており、スプレッド
も大幅に改善してきた。この先、アジア地
域では大型定修の影響で需給がさらにタイ
トになるとの見方もあり、各社プラントの
稼働率が高まりそうだ。

配管の実現が可能な離脱防止継手の開発に注力し、今回『エスロン FTR・N曲管』の発売に至った。同製品は、簡単施工で離脱防止処理時間の大幅短縮を実現。従来同様に管を接合した後に、スラストブロックを打設することなく、SU Sワイヤを挿入するだけで離脱防止処理が工具不要で簡単に完了する。同社は、エスロン FTR・N曲管』の受注拡大を含め、二〇二二年度にエスロン RCP』関連事業の売上高五十億円を目指す考えだ。

☆住化、「知財に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」参加
住友化学は一日、「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に支援者として参加した、と発表した。同宣言は、新型コロナウイルス感染症のまん延終結を唯一の目的とした開発、製造、販売などの行為に対し、一定条件下、保有する知的財産権を行使しないことを要旨とするもの。同社は、宣言の趣旨に賛同し、新型コロナウイルスのまん延終結を唯一の目的とした行為には、宣言記載の条件の下、特許権や実用新案権、意匠権、著作権の不行使を表明した。今後、宣言を尊重した上で、新型コロナウイルスのまん延防止対策について、他の企業や団体との協力の可能性なども検討していく。同社は、新型コロナウイルス拡大抑止に向けて、これまで、グループ会社による医療用ガウン向けのフィルム供給や、診断センサを開発するスタートアップ企業への資金提供、医療現場へのマスクやガウンの寄付などを実施。引き続き、コロナ感染の早期終結に向けて、行政や業界団体などと連携を図りながら、最大限の支援策を検討していく。

☆大洋塩ビ、新社長に東ソーの堤晋吾常務執行役員が就任
大洋塩ビはこのほど、新社長に東ソーの堤晋吾取締役常務執行役員が就任する、と発表した。なお、江守新八郎社長は退任となる。今月二十二日開催の定時株主総会およびその後に関係する取締役会で正式決定される予定。

☆BASF、プラの循環型ソリューション、共同開発を締結
BASFはこのほど、セキurit・マターズ社（豪州）と、プラスチックのトレイサビリティと循環型のソリューションを開発する共同開発契約を締結した。プラスチックは、その特性を生かして適切に使用されると、持続可能な資源効率の良い未来に貢献できる。しかし、サーキュラー・エコノミー（循環型経済）に転換するには、より多くの廃プラを回収し再利用する必要がある。リサイクルではマテリアルリサイクルが一般的だが、再生品はバージン品と比較して物性と品質が劣っていること、インフラ設備も高価で複雑なため多くの地域で整備されていないことが課題だ。両社は共同で、この課題に対するソリューションの提供を目指している。セキurit・マターズ社は、クローズド・ループ・リサイクル（同品質材料への再生）での物理的およびデジタル追跡を可能にし、サステイナビリティ認証や廃プラの分別精度を高める技術に貢献。同社の追跡・トレースな可能なソリューションは、永久的に変更不能な

☆エア・ウオーター、熱膨張性黒鉛事業、合弁会社化で成長
エア・ウオーターはこのほど、これまで単独で事業運営を行って
きた熱膨張性黒鉛（TEG）事業を、同社と東洋炭素および南海化
学の三社の合弁事業とするために合弁会社を設立した。TEGは、
天然の鱗片状黒鉛を硫酸によつて層間化合物処理することで熱膨張
特性を与えた特殊黒鉛製品であり、国内では唯一、エア・ウオータ
ーが製造を行っている。加熱によつて膨張することから、様々な形
状に圧縮成形することが容易であり、熱や腐食に強く、気密性の高
い素材として、自動車用エンジンガスケットや化学プラント用パッ
キンなどのシール部品材料として使用されている。また、膨張前の
TEGをゴムや樹脂などの可燃性物質に混ぜておくと、火災時に膨
張して断熱層を形成し、燃焼が広がるのを抑制する効果があること
から、建築用断熱材や航空機用シートの難燃剤としても使用されて
いる。同社は日本製鉄和歌山製鉄所構内でTEGを製造している
が、生産体制の効率化と新用途の開発が事業成長の課題であった。
こうした中、製造技術とノウハウを持つエア・ウオーター、TEG
の最大ユーザーであり豊富な技術とノウハウを持つ東洋炭素、製造
に不可欠な廃酸リサイクル処理設備を持つ南海化学の三社が合弁会
社を設立。緊密に連携することによつて、これらの課題を解決し、
TEG事業のさらなる成長を図る。今後、合弁新会社は、二〇二二
年四月の完成を目途に和歌山市内に新工場を建設する予定で、コス
ト競争力と安定供給力を備えた生産体制を構築し、放熱材などの電
子材料分野をはじめとした用途開発に取り組み考えだ。

– 4 –

ポリスチレン

(单位: t、%)

受 払		今月実績	前月比	前 年 同月比
生 産		53,820	82	85
出 荷	内 需	51,224	89	85
	輸 出	3,598	93	84
	合 計	54,822	89	85
月 末 在 庫		102,748	99	111

内需内訳

(單位: t、%)

	今月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	6,528	90	84
包 装 用	23,203	92	85
雑貨産業用	6,234	72	73
F S 用	15,259	94	93
合 計	51,224	89	85

万t超に増加していたが、今年四月は値上げをしたことが響き再び前年割れとなつてゐる。ただ、前月比でも一一%減少しており、コロナによる緊急事態宣言の影響も伺える。用途別で見ると、包装用が同一五%減の二万三千二百t、電機・工業用は同一六%減の六千五百t、雑貨・産業用は同二七%減の六千二百t、フォームスチレン用は七%減の一万五千三百tと、全ての用途でマイナスだった。前月比でも、各用途マイナスで推移した。輸出は前年同月比一六%減の三千六百t、国内出荷と輸出を合わせた出荷合計は、同一五%減の五万四千八百t。生産は同一五%減の五万三千八百t。在庫は前月比一%減の十万二千七百t。在庫月数は一・九ヵ月だった。

たるとされる。肺炎の進行や治療効果の確認には、徐々に変化する病変の性状の目視確認が必要であるが、一患者あたり数百枚にも及ぶ胸部CT画像の読影は専門医でも非常な負担になる。同社の「間質性肺炎定量化技術」は、AI技術で設計したソフトウェアで、CT画像から肺野（はいや）内の気管支、血管、正常肺および網状影やすりガラス影、蜂巣肺（ほうそうはい）など肺の七種類の病変性状を識別し、自動で分類・測定を行い、間質性肺炎の病変を定量化する。さらに、病変の分布と進行状態を詳細に確認できるように、肺野を十二領域に分割し、領域ごとに病変の容積と割合を表示する。同技術は、京都大学との共同研究によるもので、同社開発の間質性肺炎の病変分類・定量化AI技術を、京都大学保有の症例データで学習させて高精度な識別性能を実現した。今回この「間質性肺炎定量化技術」を活用し、新型コロナウイルス肺炎患者の経過評価と、治療効果判定を支援する技術開発を開始。治療薬の効果判定にも利用できる技術を確認することで、新型コロナウイルス肺炎の治療薬の開発・評価の加速も期待できる。同社は、医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術の開発を進め、『REILI（レイリ）』というブランドで展開。今後も、医師の画像診断支援やワークフローの効率を目指したソリューション開発をスピーディに進めていく考えだ。

「クラレ・人事」（六月一日）▽管理部門担当付天津康▽出向鹿島南共同発電伊藤隆雄。

「クボタケミックス・人事」（六月一日）▽解兼技術サービス部長、常務執行役員CS推進本部長小西雅弘▽技術サービス部長山川賢二。

「大洋塩ビ・人事」（六月二十二日）▽退任（社長）江守新八郎▽社長、東ソー取締役常務執行役員堤晋吾▽解兼取締役営業本部長、営業本部長谷真人。

「出光興産・役員人事①」（六月二十三日）▽上席執行役員情報システム、総務担当（情報システム部、総務部）兼総務部長吉岡勉▽退任（上席執行役員人事部長）、東亜石油社長原田和久▽人事部長星野完（六月二十五日）▽上席執行役員経営企画、DTK推進、Nexxt事業担当（経営企画部長吉田有三▽電子材料部長明田川正敏（六月二十九日）▽内部監査室長石橋伸晃▽出光クレジット監査役玉田裕之（六月三十日）▽退任（常務執行役員需給、販売担当（需給本部、販売本部））荒井裕治▽同（上席執行役員資源部門統括（資源部、石炭事業部））、七月一日付内部統制推進室シニアアドバイザー兼出光エンジニアリングシニアアドバイザー萩原栄治▽次世代技術研究所長西村公一▽プライムポリマー代表取締役副社長後藤浩樹▽同社監査役平野亮▽化学事業部河田礼二。

世界のナフサ、オレフィンスポット価格動向

(単位:ドル/t)

DATE	ナフサ		エチレン						プロピレン				ブタジエン					
	ジャパン	NWE	アジア		USガルフ		NWE		アジア		NWE		アジア		USガルフ		NWE	
2019年8月下旬	465	444	887	916	388	406	926	967	917	992	930	953	1183	1250	794	889	860	880
9月上旬	473	456	870	895	444	471	949	971	900	960	856	874	1190	1275	827	904	850	870
下旬	523	502	803	880	543	562	943	956	890	973	842	856	1180	1250	860	893	850	870
10月上旬	501	480	725	775	543	623	936	940	885	963	838	851	1110	1225	838	860	845	845
下旬	523	495	665	720	491	491	868	879	880	933	841	870	1030	1090	816	849	855	855
11月上旬	525	519	743	770	438	491	852	869	870	905	821	840	905	975	739	783	835	835
下旬	545	532	807	830	468	485	816	844	823	860	792	827	850	917	610	654	758	792
12月上旬	562	540	730	755	422	422	750	800	790	830	751	798	920	970	750	794	743	780
下旬	571	544	730	750	342	353	750	800	770	820	751	798	920	950	750	794	755	780
2020年1月上旬	572	541	765	780	370	381	750	800	815	870	817	845	920	950	860	882	760	783
下旬	540	520	830	857	406	441	819	844	853	933	882	898	943	970	886	930	777	790
2月上旬	484	472	740	803	342	364	800	833	730	828	878	901	885	925	937	1025	765	775
下旬	473	459	690	725	294	318	784	805	755	808	876	898	725	780	899	987	753	765
3月上旬	373	346	653	678	290	297	728	758	745	810	904	931	725	775	860	926	765	783
下旬	228	170	530	565	220	226	608	642	615	695	861	884	640	720	662	728	575	615
4月上旬	193	143	400	470	176	187	500	520	540	608	662	676	410	490	397	452	393	458
下旬	200	134	353	395	210	211	250	275	630	700	594	611	310	395	320	375	285	338
5月1週	235	185	450	490	201	270	250	275	700	720	551	564	310	400	287	309	215	215
2週	240	207	530	600	237	237	335	435	740	760	551	551	340	410	287	309	215	215

世界のBTX・SM・PHスポット価格動向

(単位:ドル/t)

DATE	ベンゼン				トルエン				キシレン				スチレンモノマー				フェノール	
	アジア		USガルフ		アジア		USガルフ		アジア		USガルフ		アジア		USガルフ		アジア	
2019年8月下旬	669	670	768	768	653	655	684	685	697	698	725	725	977	978	915	927	900	943
9月上旬	698	699	734	772	664	666	696	696	699	700	694	695	1021	1022	910	921	895	975
下旬	724	725	772	772	680	682	771	771	678	699	730	730	989	990	914	925	980	1030
10月上旬	669	670	729	729	667	669	741	741	691	692	720	720	948	949	897	908	960	990
下旬	644	645	679	680	634	636	714	714	671	672	711	711	886	887	835	846	890	935
11月上旬	623	624	661	661	630	632	724	724	684	685	714	714	846	847	797	808	860	895
下旬	654	655	696	697	657	659	731	731	695	696	730	730	825	826	779	791	820	863
12月上旬	712	713	738	738	678	680	715	715	697	698	712	713	862	863	785	796	830	905
下旬	735	736	760	760	684	686	684	685	693	694	690	691	873	874	815	826	820	900
2020年1月上旬	733	734	775	775	689	691	706	707	701	702	687	688	868	869	819	830	835	915
下旬	714	715	782	782	667	669	731	731	676	677	731	731	888	889	831	842	907	983
2月上旬	668	669	780	780	591	593	726	726	605	606	717	717	806	807	774	785	900	980
下旬	639	640	732	732	587	589	712	713	603	604	714	714	788	789	759	771	835	915
3月上旬	571	572	661	662	505	507	578	578	547	548	575	575	765	766	684	695	785	845
下旬	371	372	361	361	328	330	335	335	392	393	335	335	561	562	432	443	685	750
4月上旬	296	297	316	316	274	276	287	288	363	364	302	302	567	568	422	433	575	630
下旬	327	328	257	258	296	298	292	292	410	412	322	322	568	569	517	523	615	740
5月1週	365	366	317	317	329	331	344	344	386	387	350	350	584	585	611	613	680	800
2週	378	379	296	296	354	356	356	356	394	395	368	368	596	597	494	506	670	760